

## 大切な水

古賀 大翔

筑後市立 水田小学校

ぼくは、七月にリモートで「水きさら」の人に下水やしせつのお話を聞きました。

はじめに、浄化センターでどうやって下水をきれいにするのかの説明がありました。最初沈でん池、反応タンク、最終沈でん池、砂ろかせつびや汚泥処理しせつ、紫外線消毒そうちを通ってポンプで川へ放流されることがわかりました。この中でも反応タンクは下水をきれいにする一番重要な場所だということがわかりました。そのひみつは反応タンクにある活性汚泥という泥にあり、小さなび生物が水の中の汚れを食べてくれることがすごいと思いました。また、よごれた水をきれいにするのに、び生物の力を利用して薬品をほとんど利用していかないのがいな思いました。

次に、下水道の大切なやくわりについて、話を聞きました。川や海などの水質を守ること、生活かんきょうをよくすること、トイレの水せん化の三つの役わりがあることがわかりました。自然を守ってくれたり、清けつで住みやすい町にしてくれたり、きれいなトイレを使ったりすることができるよう考えられていて、下水道の大切さがよくわかりました。

最後に、下水道の正しい使い方について話を聞きました。ゴミや食べのこし、油は流さないことが大切だとわかりました。また、ティッシュペーパーはとけないので、トイレに流してはいけないこと

もわかりました。

いろいろな話を聞いて、水はみんなが使う大切なしげんなので、これからは、自分もゴミや食べのこし、油などを下水に流さないようにしたいと思いました。トイレでもトイレットペーパーいがいの紙は流さないように気をつけたいと思います。